



CENTER FOR GENDER RESEARCH AND SOCIAL SCIENCES
GRADUATE SCHOOL OF SOCIAL SCIENCES, HITOTSUBASHI UNIVERSITY

一橋大学大学院社会学研究科 ジェンダー社会科学研究センター

第37回 CGraSS 公開レクチャー・シリーズ

2016年10月14日(金)14:30~16:30

講師:イルゼ・レンツさん(ルール・ボーフム大学)

現代ドイツにおける フェミニズムと反フェミニズム運動

(使用言語:英語、通訳あり)



反フェミニズム運動はいまや国際的な潮流となって、現代社会に展開されている。ドイツにおいて、フェミニズムは価値観や法規範の変容には効力を発揮してきたが、ジェンダー平等は実現してこなかった。しかし、社会不安が増すなか、反フェミニズム運動家は、男性に平等を要求する「フェモクラシー」のもとで、今日、社会を統治しているのは女性だと主張している。ネオリベラルなナショナリストの新しい団体である AfD は「生物学的」なジェンダー役割や、人口政策、厳格な反中絶法を再び伝統化することを主張している。

講演では、男性主義的なネットワーク型の反フェミニズム運動から、伝統化された家族主義的な団体の反フェミニズム運動への移行を、国際的な視点から分析する。

ふるってご参加ください。予約は不要です。

◆講師紹介◆

専門は社会学、社会構造およびジェンダー研究。ミュンスター大学、デュースブルク大学、ベルリン自由大学で教鞭をとり、東京大学、お茶の水女子大学でも客員教授を務めた。前みち子教授と共に、日本のジェンダー研究のワークショップをコーディネートした経験もある。新著に、*Gender, Migration, Future. How Germany is Changing*, (Leverkusen, 2016)。

- 司会：大河内泰樹さん（本学社会学研究科・教授）
- 場所：一橋大学東キャンパス、マーキュリータワー4階 3406室
- 連絡先：ジェンダー社会科学研究センター cgrass@soc.hit-u.ac.jp